

陳情第 5 号  
平成 27 年 2 月 20 日

国立市議会議長  
青木 健 様

## 国民健康保険税の年間 1 人 5000 円引き下げを求める陳情

### ■陳情の趣旨

国民健康保険は加入者の多くが、高齢者、非正規労働者や個人事業者の方です。また国立市では加入者の 80% 近くが所得 200 万円以下の方です。さらに現役労働者で社会保険などに入っている方でも、退職されたらほとんどの方は国民健康保険に加入します。

国民健康保険税は扶養・寡夫・しょうがい者などの控除はなく、一律 33 万円の控除のみです。国立市は平成 25 年度から国民健康保険税を 1 億 5 千万円増税した結果、市民からは「日々の生活が苦しくなっている」の声が多く出されています。今後、消費税の増税、介護保険制度・医療制度などが改定される一方で、年金の削減により、市民のくらしは一層苦しくなっています。

市民の所得が減り続けている今、市民生活を守る責務がある地方自治体として福祉優先のまちづくりにするために、国民健康保険加入者 1 人当たり年間 5000 円の引き下げを要請します。財源は、市の基金の活用などで対応するようお願いいたします。さらに国や東京都が補助金や負担金の引き上げを行うよう、働きかけをお願いいたします。

市議会におかれましては、国民健康保険税の増税をせず、市民が安心して医療にかかれるように以下の項目を市当局に要望して頂きますよう陳情します。

### ■陳情事項

- 1、国民健康保険税を年間 1 人 5000 円引き下げること。

以上